

「大寒」前の花便り



静岡の今

90

二十四節気の小寒(今年
は1月6日)から大寒(1
月20日)までの間は、一年
でもっとも寒い期間とされ
る。大寒は文字通り一年で
最も寒さが厳しいところで
小寒は寒さがピークに達す
るやや手前のころ。と言っ

ても「小寒の水、大寒に解
く」という言葉もあるよう
に体感する寒さは小寒の
方が強いともいわれる。
いずれにしても寒い「冬の
底」であることには違
ない。
ところが、令和初の「寒」
はどうやら「暖冬」のよう
である。静岡地方気象台に
よると、大寒の日の静岡市
の最高気温は14.7度で平

年より3.4度高く、最低
気温も2.8度で平年より
1度高かった。1月20日ま
での日最高気温の平均値も
前年1月を上回るペースで
推移しており、2週間先ま
での予報も「暖冬」を予測
している。

この暖冬は、自然界や身
の回りの生活の中でも感じ
ることができる。伊豆半島
の先端・南伊豆町の休耕田
を活用した菜の花畑では夏
のヒマワリが咲き、富士の
裾野ではプロッコリーなど
冬野菜の成長が早くて収穫
が追いつかない。富士を見
ながらサイクリングを楽し
む人も汗を拭き拭きペダル
をこいでいる。

暖冬の「恵み」もある。
毎年この時期に行われる大
学入試センター試験が18、
19日、全国各地で行われた。
県内でも静岡大など21会場
で1万6029人の志願者
が、今年で最後となる試験
に挑戦した。

気象庁によれば、18日午
前は関東甲信の一部で雪の
予想だったが気温が下から
ず、おおむね雨で済んだ。
県内でも交通トラブルなど
はなく、受験生には優しい
今年の「寒」だった。

静岡地方気象台は10日、
静岡市の「梅の開花」を観
測。平年より10日早いとい
う。
早咲きの梅で知られる
「熱海梅園」では、早くも
二分咲きの紅梅・白梅が染
しめる。
桜の前に、令和は梅を染
しむのも一興か。

(前静岡県監査委員・富永久雄)



サイクリングも汗だく＝富士市、全日写連・山田康さん撮影